

公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証について

1 再検証等をめぐる国の動向

「新型コロナ対応の状況に配慮しつつ、都道府県等とも協議を行い、この冬の感染状況を見ながら、改めて具体的な工程の設定について検討。」という整理がなされた。

【新型コロナウイルス感染症対応を踏まえた今後の医療提供体制の構築に向けた考え方】

(令和2年12月 医療計画の見直し等に関する検討会)

2 広島県における対応状況

(1) 説明会及び意見交換

令和2年2月18日に再検証対象医療機関に対し、説明会を開催。

説明会終了後、地域医療構想アドバイザー同席のもと、個別の意見交換を実施した上で、具体的対応方針を再検証するよう要請。

(2) 具体的対応方針の検討状況の調査

今後の広島県の地域医療構想調整会議における再検証の進め方の参考とするため、各対象医療機関に対し検討状況についての調査を依頼

(令和2年10月19日広島県健康福祉局長照会)

(3) 今後の方針

再検証の期限について、厚生労働省は「社会保障審議会医療部会」における議論の状況や地方自治体の意見等を踏まえて改めて整理することとしており、まだ具体的な期限等は示されていないが、広島県としては、検討状況の調査結果を踏まえ、各対象医療機関に対し現地ヒアリングを実施した上で、各圏域の地域医療構想調整会議において議論を進める予定。

3 呉圏域における対応

(1) 社会福祉法人恩賜財団広島県済生会 済生会呉病院

令和2年度中に急性期機能50床を地域包括ケア病床に転換予定。

具体的対応方針の再検証の内容を踏まえた公的医療機関等2025プラン策定済み。

(資料7-1, 7-2のとおり)

(2) 呉市医師会病院

令和2年10月1日付で、9床病床削減。

現在、更なる病床削減及び急性期機能から回復期及び慢性期機能への転換について、具体的な対応方針の検討を行っている。